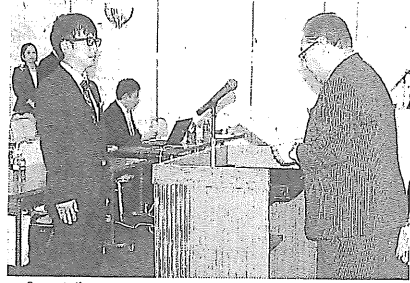


島根発

若手社員プロジェクト 社内の活性化めざす



プロジェクト任命式、右は後長社長
(企業警備保障提供)

企業警備保障(島根県松江
市、後長利春社長)は11月6
日、「第44期総決起大会」を
松江市内で開催した。同社は

【報告 企業警備保障】

11月が新年度の期首にあたる
ことから経営方針の発表や記
念講演を行い、役員や現場の
所属長など60人が参加した。

後長社長は、新たな経営方
針として「社内の風土改革」
を掲げた。若い社員が理想
とする会社像を、経営ビジョ
ンに取り入れることを目的
に、若手社員10人によるプロ
ジェクトチームを編成。大会
の中で、任命式を行った。

同チームのメンバーは、エ
リアマネージャーや営業所
長、警備現場の所属長など。

うち4人は同社の社内教育機
関「KKH(企業・警備・保
障)大学」に入校し、業務の
傍ら経営や各分野の専門知識
を半年間にわたって学んだ
「卒業生」だ。定期的に合合
を開き、意見発表などを行う。

同社は従来の施設警備、交
通誘導警備に加えて、高速道
路の警備、列車見張り、盗聴
器・盗撮発見、身辺警備など
業務サービスを拡大。地域に
貢献する企業として「ブラン
ド化」を図っている。若手社
員の率直な意見や新しい発想
を経営や職場環境づくりに反
映することで、社内の活性化
と一層の発展を目指す。

また、同社が取得している
国際規格「ISO」に基づき、
管理職を対象として業務管理

に関する社内試験を行い、コ
ンプライアンス強化を図る。
記念講演では、フリーアナ
ウンサーの河上恵美さんがコ
ミュニケーション能力のスキ
ルアップをテーマに、良好な

人間関係を築くための話し方
や表情などを解説した。
大会に先立ち、社員は出雲
空港公園で清掃ボランティア
活動に取り組み、地域貢献の
意識を高めた。